

「抜く」とはどのようなことでしょうか。

よろしければ、あなたのお知恵をお貸しください。あなたの言葉で表現してください(任意記述)

参考までに、藤田が考えた「抜く」は以下の3つ(注:3つは同じ意味を表しています)

- ・普通では出来ないことを、続けることによって、やり遂げること
- ・完了するまで、同じ動きを続けること。困難・障壁があることが多く、特別な何か(力、工夫、強い意思)が必要
- ・やりたいことができるまで、同じ動きを続けること

「最初から最後まで、何かを頑張って(工夫して)つづける。」「抜く」は、最後は0または空になることを強調する表現。(マラソンなら残り0キロになる。途中棄権したら走りぬいたと言えない。食事を抜くは胃が空になる、重が壁を打ち抜くは、壁に空洞ができる。楽しみ抜くは、楽しいイベントを最後まで続け、最終的に残り時間が0分になる。

内容をお聞きしていないので感覚的な表現で回答がずれていたら申し訳ありません。あらかじめ亀山先生にいメーリングをいただいたときに感じたのは、歯を抜く・草を抜く・追い抜く・やりぬく.....「勢い・力がある」と感じました。藤田先生のお考えをみて、なるほど、それには「障害・意志」を越えるという表現になる、と思いました。

そのままでは出来ないことを、続けることによって、やり遂げること

「連続している、囲まれているものから取り出すこと」しか、今の段階ではまだ考えられません。これから考えてみようと思います。

「中に合ったものを取り出す」

私たちのグループでは「注意」「意識」というキーワードが出ました。

「全体の中から放し、やり遂げる」

この表現はどうでしょうか

2、手持ちのトランプから放す

3 彼は 180 キロで前の車を抜いた。

ともに走っている車という全体からの解放

4 日本酒につけて、肉の臭みを抜いた。

肉という全体から、臭みを放逐

5 食事を抜けば、体重が減る。

一食手放す

6 パソコンからデータが抜かれて

全体の情報から放出

7 空手では、肩の力を抜くこと

いきみを開放

8 お風呂の水を抜く。

9 風船の空気を抜く。

全体から放流

10 彼は 42.195km を走り抜いた。

走る行為を終え開放感

11 ピストルの弾は壁を抜いた。

弾を放ち、障壁からの解放

踏み抜く

設置面や痛みからの解放

グループ 23 では、すべての例文で 3 つの意味が言える(あてはまる)という結論に達しました。例文のここを変えたら、この場合はどうだろう?と話が止まりませんでした。もっとお時間をいただければと感じました。

すべてを同じ考え方でまとめると、逆に理解が難しくなってしまうのでは?と考えました。

3 つぐらいのグループに分けると、考え方がまとまるかと思います。

①きれいに順序よく並べられたもの、ところから 1 つ外れる。

②トンネルをイメージし、中を貫通する。

③外へ逃げる。

でした。

時間をかけて、何らかのエネルギーを加えて、状況を変える。という意見がグループで出ました。

※始まる前に考えていて、ブレイクアウトで話したのですが、「報酬を得るために、圧をかけて、中から外へ出す」。こう考えていました。グループのメンバーも笑っていました。特に、6番、7番では、「確かに、圧をかけないと目的は達成できないですね。」と、楽しい時でした。

藤田先生、語彙の共通点を探すのは楽しいです。教える者が楽しければ学生も楽しくなると思いますが。ありがとうございました。9月にまたお会いできますように。

その通りだと思います。

ある幅のある困難や障害のあるものの中から、調整されたエネルギーを加え続け、別の状態に変化させる。または変化すること。

・埋まってある、あるいはまとまり・かたまりのあるところから、取り出す。

・取り出したあとは、出発点・通過点からそのものがなくなる。

歯を抜く(歯茎から歯はなくなる)

楽しみぬく(存分に楽しんで楽しむ行為は終了する)

ある固定された場所や状態からの移動

11の例文にあった「壁」を比喩的な意味(障壁)と捉え、「壁の内側から壁の外側へ、細い管を通して出すこと」と考えました。しかし先生のおっしゃる「継続、意志」なども「なるほど」と思いました。

・あるまとまりから取り除く。・自分の意志を伴って行う事/受身の場合は、他者の意志によって行われる事。いずれにせよ動作主の意志が働くということです。

私の理解では基本は「あるものをなくす」で、その他の意味として「さいごまでやりきる」「あるものの前に行く」ということしか思いついていませんでした。

埋まっている/詰まっている基本の状態から、意図的な力で何かを取り出し、中を空にすること。

3.は2台の車が並んでいる状態が「埋まっている」状態で、そこから1台が出て、その1台の場所が空になるイメージです。

10. は「42.195km」を全部走ることが基本の状態、もう走る必要がないのが空になるイメージです。(42.195km→0km)

何かの意図・意思をもってある動作・行為が続けられ、それによって目の前の困難・壁などがなくなること

「抜く」とは、特別な意図や目標をもち、それに向かって努力を続けてそれを成し遂げたときに使われ、そのプロセスが自然に思い描かれるようなニュアンスを含む言葉だと思います。

通常または長く続いていた状態から別の状態に移動する。

少しシンプルにとらえたのですが、ルーム11 チャットで加筆した分です。ゴールとしてのポイントをイメージしました。

もともと固まっていたところから、わりと遠めのところへ、強制的にまたはスピーディーに離れること。

そのもの・ことを、やり続けることによって頑張らなくす(物理的なものであれ、抽象的なものであれ穴ができる、消えるイメージ)、終わらせる動作のこと

あるまつまりや流れから脱し、何らかの抵抗を伴いつつも、向こう側へ出るまで同じ動きを続けること

(難しいです!!)

今日の講義を通して「抜く」は、「ある意図的な力を加え、それを継続し、一定の結果を出すこと」といえるのではないかと思います。

実は「普通」という言葉が、どうしてもひっかかっております。「容易ではないこと・状態」を継続したのちに目的を達すること。またはゴールに到達すること。

先の質問でいろいろ書きました。共通の概念や概念図のようなものは示せても、言語化して一つにまとめることに、窮屈さを感じました。

特に、2のトランプは説明を聞いても納得できませんでしたし、あの例文から「やり遂げる」意味はないように思います。「提示されたもの・揃っているもの」から「取り出す・外す」だけの意味では？また、「手を抜く」ようなもの(これは慣用句でしょうが)は当てはまらない、というか、文意に影響されるものだと思います。

全部の意味に共通する説明となると上記の説明は、素晴らしいと思います。

今日のお話しの中にも出て来た「塊の中から少し力を使って元の所からある一方向に距離を離す」「抜いた後の状態が変わる」「見えないものも扱う」のような意味を踏まえた上で、全部に通用する共通点は何か、ということですね。

全部の共通点ではない、その前段階になるかと思いますが・・・「抜く」の例文を見ていて、「抜く」はその行為で影響を受けた後の状態の変化に意味があり、その意味を示唆することで訳が変わることが多いのかと感じました。「データを抜く」=盗む、「肩の力を抜く」=リラックスする、「弾が壁を抜く」=貫通するなど。「ババ抜き」なども「ババを単に取っておくのではなく抜いた、入っていない状態が大切なのか」

わたしの感覚なんですが、「抜く」という言葉から受けるイメージは、大根を抜く、にんじんを抜く、など、野菜を地面から抜くを始め、歯を抜く、栓を抜く、風呂の水を抜く、力を抜く、風船の空気を抜く、

トランプの札、データ、などの使い方で、この場合は、中に入っているものを外に出す。満ちている内容を減らす、取り除く、という意味ではないかと思います。例文の3番、10番、11番は、前の車を追い抜く、走り抜く、壁を突き抜ける、など、他の動詞といっしょに使うことで成立しているのではと思うので、つまり、本来の「抜く」の意味では使っていないのではないのでしょうか。と思うのですが、いかがでしょうか。

イランが攻撃された。気が抜けない段階に入る。

人によって感じ方様々なんだなと思いました。自分自身でも、いつか、例えば1と2は同じと思ったが時間置くと思わなかったり、その時その時で受け止め方が変わる。そもそも、全部の共通項が「有るのか無いのか」、素人の知恵で答えは出るのでしょうか。その道のプロの緻密な研究の結果、有る無い、どちらか判明していたりしないのでしょうか。

並んでいる・詰まっているものから(並びと垂直方向に)それを取り去ること

がんばって取る。(すみません、こんな表現・・・)

的確に言語化されているので追加案はありません。

先生のおっしゃる3つの言葉ですべての「抜く」を網羅しているように思います。自分の言葉でこれ以上の表現はできません。

並んでいるまたは続いている状態が自然な状態から、なくしたり移動させたりすること。

これでいくと⑩は少し無理があるようになりますが、走る状態から走り終えた＝走るという動作をなくした的に捉えることも可能かなと思います。

・元ある場所から勢いを伴って一方向に移動させること

すべてに当てはまる言葉がなかなか見つからなかったのですが、「抜く」と「抜ける」が頭に浮かんでしまっ、そこには意思や気持ちが存在するとは感じていました。

何かをやり遂げるために移動する/させる

「抜く」については、いいアイデアが浮かばなかったのですが、たまたま「前の文の内容に抜けている内容で、相手に知ってほしい条件、事実などを述べる」という文がありました。

「抜く」が他動詞で、「抜ける」が自動詞ですね。先生からの例文を見ると、自動詞にしても意味が通じる文(1・4・6・7・8・9)と通じないものがありました。・・・すみません。ここまでです。ただ、このように考えてみる機会をいただき、それは今までは思いもよらなかったことなので、「新しい発見」になりました。ありがとうございました。

現状と違う結果になったとしても、それは最初の現状がないと成立をしない言葉である。そこに、努力や気持ちという意味もついてくると思う。

「必ず土台やターゲットがある」を加えるというのはいかがでしょう。

上記の3点はどの例文にも当てはまるというには無理があるかもしれませんが。例文に共通する意味としては「中から出て/出して、保たれている状態から外れる」という意味を表しているとしてはい

かがでしょうか。中からは塊/集まり、列などの中から。複合動詞の場合前の動詞を続けている状態から最終的に外れ終わるとき(考えぬく、生活を守り抜く/楽しみぬく)

学習者のレベルにより例文を含め 3 通りの言葉の意味があります。時間の進め方もちがってくると思います。

当日会場で発表しましたので、省略します。

上記の 3 点にプラス、力の方向が弧を描くのではなく直線で描かれる(?)...でしょうか。

固まった全体や団体から一つの部分を取り出す。どうしてか「抜」の字形から受けている印象が強くて「友だちの手を抜ける」というシュールなイメージが頭に浮かんできてしまいます。誰かの腕を抜けるまでにはかなり力や工夫が必要ですね。抜き口が非常に狭くて、ギリギリ完了できるという語感も抱いています。

回答ではないのですが、「普通」を私自身がうまく捉えられず、共通した意味を見つけることが難しかったです。

藤田先生のご意見を理解することに精いっぱい、自分の意見はまだまとまりません。申し訳ありません。考えれば考えるほど、先生のご意見の内容に納得がいきます。